

令和元年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」公開コンペで 最優秀賞・優秀賞を受賞した政策提案の概要

最優秀賞

政策提案の名称	”規格外果実”を”規格外”のお土産に
大学等の名称	近畿大学
代表者の 学部・学科・学年 及び氏名	農学部応用生命化学科4年 松尾 啓史
政策提案の概要	柿は、奈良県が全国生産量2位であり、特産品の一つであるが、相当数が「規格外果実」として市場に出回っていない。そのため、奈良県及び近畿大学では、このような柿の産業的な利用を目指し、柿ワインの研究開発が行われている。我々は、柿ワインの醸造の際に除去される酒粕に着目した。規格外果実として出荷されていない柿由来の酒粕を用いて奈良県独自の特産品を開発することで、農産物の振興につなげるとともに、新たな奈良の特産品として県を観光地として活気づけることを目指す。
「主な政策集」のうち 該当する政策課題	8 企業誘致・販路拡大・起業促進・商品開発支援・漢方生産拡大の推進 11 農・畜産・水産業の振興と農村の活性化 13 県内宿泊客増加に向けた観光の振興

優秀賞

政策提案の名称	和歌発祥の奈良で現代の「短歌を詠む」文化継承を大学生の手で
大学等の名称	奈良大学
代表者の 学部・学科・学年 及び氏名	文学部文化財学科3年 小江 陽南子
政策提案の概要	奈良は文学表現としての和歌の発祥地であるにもかかわらず、現代社会では「短歌を詠むこと」への関心は薄れ、短歌祭や歌会は参加者の減少と高齢化が課題である。万葉集等の古典鑑賞がブームであるが、古代より「自己表現の手法」であった短歌の本来の魅力を認識し直すために、大学生が自作の短歌を発表し合う短歌祭や歌会を開催する。それにより奈良の様々な地域のあらゆる世代に自然に「短歌を詠むこと」を定着させ、日本の伝統文化を現代の言葉で表現する短歌を通じて、地域文化を活性化することが本事業の目的である。
「主な政策集」のうち 該当する政策課題	10 すべての人が生涯良く学び続けられる地域社会づくり 14 質の高いイベントの実施と県の文化力の向上
政策提案の名称	在来作物を用いた農山村の活性化
大学等の名称	近畿大学
代表者の 学部・学科・学年 及び氏名	農学部環境管理学科4年 文 賀紀
政策提案の概要	大和高原地域には、モロコシ、アワ、キビ等の雑穀類に代表される、様々な在来作物が現在でも細々と栽培されている。本事業では、こうした消滅の危機に瀕している貴重な地域資源としての雑穀に注目し、耕作放棄地を利用した、モロコシ、アワ、キビ等の生産拡大を目指す。近隣の都市住民が日帰り農業体験等で雑穀栽培に携わることが出来るような仕組みをつくとともに、収穫物の販路を確保するため、地域の福祉作業所等と連携して雑穀の加工品を開発する。
「主な政策集」のうち 該当する政策課題	3 県民が健やかに安心して暮らせる地域医療・介護・福祉の総合的な取組の推進 11 農・畜産・水産業の振興と農村の活性化 16 地域性を活かした、にぎわいのある、くらしやすいまちづくり 17 頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる南部地域・東部地域の振興